

受験番号: 33IPCN011

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ターゲットを含む検出待ち画像を取得するステップと、
予め訓練された第1ニューラルネットワークを用いて前記検出待ち画像の第1特性情報を取得し、
予め訓練された第2ニューラルネットワークを用いて前記検出待ち画像の第2特性情報を取得するステップと、

前記第1特性情報と前記第2特性情報とを組合せ、総合特性情報を取得するステップと、
前記総合特性情報に基づき、前記第2ニューラルネットワークを用いてターゲット検出結果を取得するステップと、を含み、

前記第2ニューラルネットワークは、
入力された前記検出待ち画像に基づいて前記第2特性情報を取得するために用いる特性入力層と、

前記第1特性情報と前記第2特性情報とを組合せて前記総合特性情報を取得するために用いる第1特性組合せ層と、

前記総合特性情報に基づいて前記ターゲット検出結果を取得するために用いるターゲット検出層と、を備えるターゲット検出方法。

【請求項2】

前記第1ニューラルネットワークと前記第2ニューラルネットワークとを訓練するステップがさらに含まれる請求項1に記載のターゲット検出方法。

【背景技術】

人々の生活水準の向上に伴い、健康概念が徐々に一般消費者に浸透してきた。それに伴い、衣食住等の日常生活においても、健康や安全性に対してより注視するようになっていた。周知のとおり、発汗することは身体の新陳代謝にとってとても必要であり、我々の汗には一定の老廃物が存在するため、発汗はある程度の毒素を排出することができると思われる。しかし、汗で無機物が堆積すると、皮膚のpH値が変化し、皮膚に対して一定のダメージを与えてしまう。

現在、紡績品に抗菌性を付与させる方法として、主に後仕上げによって実現しており、その工程は抗菌繊維から製造されるものより利便的である。紡績品の抗菌として用いられるものは多く、なかでも、ハラミン抗菌は、ハロゲンが抗菌成分として効果的な殺菌作用を達成しており、その化学構成におけるN-HとN-Xとの間の変換により「再生可能」な独自の抗菌性を実現することで、抗菌仕上げされた紡績品の多くが時間の経過につれて抗菌性が徐々に低減するという欠点を克服している。

【発明を実施するための形態】

図1に示すように、本発明に係るシリンダカバーを加工するためのバリ取り装置は、ベース1、ネジ棒2、固定部3、手動伸縮ロッド4、第一回転モータ5、第一傘歯車セット6、第二回転モータ7、第二傘歯車セット8、接続ロッド9、接続プレート10、回転盤11、ブラシ12、作業台13、シリンダカバー本体14及び排出口15を含む。そのうち、ベース1の内側底部には、固定ロッドによって作業台13が固定され、且つ作業台13の上方には、シリンダカバー本体14が嵌合される。

動作は、以下のとおりである。上述したシリンダカバーを加工するためのバリ取り装置を使用するときは、まず、加工されたシリンダカバー本体14を作業台13上に嵌合し、第一回転モータ5を起動させ、第一傘歯車セット6によって手動伸縮ロッド4を左右に移動するように連動させる。

第二回転モータ7を起動させ第二傘歯車セット8の連動によってその下方にある回転盤11が回転され、回転盤11の下方にあるブラシ12がシリンダカバー本体4に対して左右に移動しながら加工を行うことで、シリンダカバー本体4に対してより全面的なバリ取りを行う。